



一宮町長
馬淵 昌也

町長就任から、早くも任期の4年が経過とうとしています。これまで、行ってきたことのいくつかを振り返って、ご報告申し上げます。

まず、上総一ノ宮駅東口の開設を実現しました。これは、オリンピック到来決定により、はじめて可能になったものです。千葉県に建設費の半額を援助して頂くことで、町の負担を軽くして、建設にこぎつけました。この6月に完成します。外房線より東側にお住まいの方々中心に、駅の利便性を大きく増すものとなります。また、一宮町への移住の誘因でもある外房線と上総一ノ宮駅の機能を増強するものとして、町の発展に、長く寄与することとします。

二つ目には、小中学校の全教室に、クーラーを設置いたしました。平成29年に、町の独自の判断で小中学校の主要部分に設置しました。平成30年の夏の記録的猛暑にも、生徒さん方は、涼しい環境で過ごして頂けました。快適な環境で勉学に励んでもらえるようになり、成績アップを期待したいところです。

三つ目には、駅前、観光拠点施設を開設いたしました。町有地に、地方

創生の資金を活用して、観光案内所や農産物直売所・飲食店が入る施設をつくったものです。観光案内所は、自転車の貸し出しを中心に好調で、大勢の来訪者をお迎えしています。直売所の売り上げも増加し、施設は黒字を計上しています。観光で町の産業を活性化してゆくという、今後の戦略の基礎を築くことができました。

四つ目には、長生農業独立支援センターの設立です。農業は一宮町の基幹産業ですが、ご多分にもれず、高齢化と後継者不足にさらされています。一方で、町には新規就農の希望が寄せられてきました。そうした声にお応えするため、JA長生、白子町、長生村と組んで設立しました。徐々に成果を挙げつつあります。一宮町の農業が再度輝きを取り戻してくれることを、強く願っています。

他にも、保育園の増築やお買い物観光循環バスの運行、英語教育の増強やオリンピックの準備作業など、多くのことを行ってまいりました。初めての任期としては、まずまずの成績を挙げられたと存じます。皆様のご理解・ご協力に深く感謝を申し上げます。次第です。ありがとうございました。